

平成29年度事業報告

はじめに

会員人口の変化は昇級・昇段審査受審者数の動向に如実に反映している。公益社団法人（以下公社という）移行後の統計によると毎年前年比2%平均で減少を続けてきた受審者数は、この1年でようやく下げ止まり感が出てきた。「わが国の伝統と文化に培われた剣道（居合道、杖道を含む）を、正しく継承し、剣道の普及振興を図り、もって府民の健全な心身の育成に資する（定款 第3条）」ことを大命題とする当連盟は、気を緩めず、今まで以上に少子高齢化対策に真剣に取り組んで行く。

（参考）全剣連情報・・・剣窓 H30/2月号「都道府県別新登録者数」

特に、剣道人口の将来につながる“初段取得者”数一覧表

	H27/1-12	H28/1-12	増減率	H29/1-12	増減率
①東京	3991→3537	-11.4%	→3,478	-1.7%	
②愛知	3144→2709	-13.8%	→2,605	-3.8%	
③埼玉	2777→2586	-6.9%	→2,602	+0.6%	
④神奈川	2569→2459	-4.3%	→2,706	+10.0%	
⑤大阪	2198→2150	-2.2%	→2,229	+3.7%	
.....					
全国計	38910→36458	-6.3%	→36,470	+0.0%	

第12回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会については、大型の台風18号の接近の中、関係者皆様の綿密な連携の下、盛会裡に開催することができました。区切りの第10回大会以降大きな課題であった安定財源の確保についても、共催の大阪市のアドバイスを受け、昨年の第11回大会に引き続き、継続して賛助会員制度の支援とスポーツ振興基金の助成を受けることが出来た。賛助会員制度には昨年度に続き472件、278万円のご協力をいただいた。スポーツ振興基金からは215万円の助成をいただき、無事開催することが出来た。今年度の第13回大会についても、「高校野球の甲子園」、「高校ラグビーの花園」に匹敵する「少年剣道の舞洲の火を消すな」との熱い思いの下、少年達の心いつまでも残る大会を目指して準備して行きたい。

財政基盤の確立については、個人会費と審査料・登録料が主な財源で、更に収支相償（大きな赤字も、大きな黒字もだめ）という公益法人に課せられた難しい縛りの中で、一般会計でこの3年赤字が続いていた。主な要因は昇級・昇段審査受審者数の減少によるものであった。このような環境の中で、1年毎の単年度志向を改め長期的な視点に立って中期計画を策定した。様々なコストプレッシャー要因を把握した上で、安易に会費・審査料等の値上げに頼らない財政運営の模索を行った。赤字事業の見直し、管理費の削減等徹底した緊縮財政に各方面でご理解、ご協力をいただき、着実に赤字を減らし、今年度は若干の黒字となった。まだまだ安定した黒字体質には程遠く徹底して緊縮財政を継続する。

その他事業については

- (1) 定款に定められた各種大会、講習会、講演会、昇級・昇段審査会、各種大会等への選手・役員の派遣、功労者表彰、安全衛生対策等諸事業については各委員会・事務局が中心になって年間行事予定に従い準備、推進した。
- (2) 前年度立ち上げた2つの委員会については出来るだけ早く所期の目的につなげ、軌道に乗せるよう努力した。
 - ①学校委員会については、学校現場の情報を密に交換し、その連携を深めて、更なる剣道人口の増加を図る対策の研究を進め、着実に地歩を固めてきた。

②女子委員会については、女子剣道の裾野の拡大が府下剣道界の充実と発展に大きな役割を果たすと考え、女性剣士の交流の場を広げ、指導者層の拡大充実を図った。特に、各種大会での形・模範演武、3月の国際女性DAYに合わせ新しい企画として「2018 オールおおさか剣道WOMANフェスタ」を開催し、女子力を示す活動を積極的に行った。

- (3) 中学校における武道必修化支援については、全日本剣道連盟の呼びかけに応え、中学校における武道必修化対応事業として平成29年9月に「授業協力者養成ブラッシュアップ講座」を実施した。また、大阪府教育委員会では各中学校に呼びかけ、保健体育教員を対象に剣道の授業展開に対応できる教員養成講座を平成29年11月に計4回実施し、当連盟から講師を派遣し全面支援した。また大阪府教育委員会との定期会合で、制度の進展方や、部活動における専門家派遣等について意見交換を行った。

以下、平成29年度事業計画に基づき実施した具体的事業について概括する。

I 公益事業

1、個人会員および登録団体の状況

剣道はそもそも道場を基盤とした「道場文化」の上に成り立っていた。公益法人に移行して7年を経過し、組織構成員の位置づけを明確にした個人会員登録制度が定着してきたものの、一方で「道場文化」が希薄化する傾向がみられる。道場を活動拠点として、剣道を通じてよき師に巡り合い、友人関係の深い絆を形成してきたこのよき伝統を是非とも「登録団体」で補完していただきたい。まずは、稽古の場を持つことはもちろん、大会・審査会・講習会等の情報連絡、スポーツ保険や個人登録会費の納入などの事務的なとりまとめ、稽古環境の整備等にはじまり、「交剣知愛の輪」を広げる扇の要（かなめ）の役割を積極的に果たしていただきたい。

個人会員数は、高校生相当年齢 2,230 名、大学生相当年齢 887 名、一般 13,109 名であった。なお、中学生以下の登録者は 8,728 名で、その合計は 24,954 名であった。昨年度と比べると、一般の登録者は微増で、高校生相当年齢および大学生相当年齢は減少の傾向が顕著に窺える。中学生以下の登録者数は微減であった。個人会員数合計は、横ばい状態が続いている。

本年度の入会登録団体は5団体あり、退会登録団体は2団体で、本年度末の登録団体数は 559 団体となった。

2、講習会の開催及び指導者育成事業（定款第4条第2号）

真の剣道精神と正しく高度な技術を兼ね備えた剣道人の育成を目指すと共に、各層の剣道の普及発展を図る為、当連盟が主催する講習会を、剣道においては、近年マンネリ化していた講習会の参加者を増やし、指導者の一層のレベルUPを図るため、今年度から、府下9地区を北・中・南の3ブロックに大きく括り、八段講師を毎回5人投入し、審判法・日本剣道形と指導法を有機的につなぐ講習会を企画、試行した。各ブロック1回ずつ、計3回の講習で延べ235名の参加を得た。

これに先駆けて、指導講師間での趣旨徹底、意思統一するため、5月14日午前中に全剣連伝達講習を兼ねて八段講師研修会を開催し、午後には審査員審判員研修を行った。

これまで実施してきた講習会については、審判法4回、日本剣道形3回、指導法3回、女子剣道普及のための講習会・稽古会を3回、合計で13回開催したほか、昨年度に引き続き、「剣道高段位受審者対象講座」を2回開催して、高段位受審者の合格率の上昇を目指した。

これらに加えて、全剣連後援講習会（日本剣道形）を公認審査員・審判員の候補者となる剣士を中心に受講者を募り、実施した。

上記の地域合同講習会開催に注力するとともに、従前の地域・職域（大阪剣道協会、高校体育連盟、学生連盟、実業団、官公署、道場連盟）における講習会には、講師手当の一部を補助して開

催を促進した。これらの剣道講習会を合計で25回開催し、受講者延べ1,279名であった。

これら上記の講習会には、段位・級位審査員、審判員および称号受審者に年2回の受講を義務づけており、個人登録システムにより資格認定の必須条件として厳密に管理することとした。

さらに、9月には、全剣連の主導により中学校における武道必修化に対応した第4回目の「授業協力者養成講習会」を実施した。受講者は44名であった。

居合道では、特別強化練習会・夏季講習会など9回実施し、恒例となった、全剣連派遣講師による講習会を1回実施、合計10回の講習会を行なった。

また、全日本剣道連盟主催・当連盟主管の居合道地区講習会を7月1・2日に大阪市中央体育館で、全国から多数の講師・受講生を迎えて開催した。

杖道では、12回の主要講習会に加えて10回の月例研修会を開催した。

また、三道共通講習会として、例年開催している、「スポーツ安全講習会」を「文化講演会」として、2月3日(土)エル・大阪に於いて、国際日本文化研究センター名誉教授 笠谷和比古氏を講師にお迎えし、「現代に生きる武士道」をテーマに、開催したところ、111名が受講し、大きな反響を得た。

暑中稽古・寒稽古の開催については、オール大阪暑中稽古と銘打ち、7月23日府民共済 SUPERアリーナ(舞洲アリーナ)で実施し、約1,400人の参加があった。府内剣道人が一堂に会し、共に汗を流し、自己の存在を確認し、成長を図る場として、今後も一層の成果を期待したい。また寒稽古は1月4、5、6日に中央体育館で実施され、午後については、中体連、高体連が独自の事業として寒稽古を実施し、これを支援した。

3、各種大会開催事業(同条第3号)

本連盟主催分・・・	6月18日(日)	第54回大阪杖道大会	
	6月25日(日)	第50回大阪府少年剣道大会	
	7月22日(土)	第64回大阪府剣道優勝大会	
	9月17日(日)	第12回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	
	11月5日(日)	第40回大阪府女子剣道優勝大会	
本連盟後援分・・・	11月18日(土)	第47回居合道段別大会	
	11月19日(日)	第40回関西杖道優勝大会	
平成30年	1月7日(日)	第59回大阪居合道大会	
本連盟主管分・・・	4月29日(祝)	第65回全日本都道府県対抗剣道優勝大会	
	5月28日(日)	大阪市長杯第61回市民剣道大会	

4、府外剣道大会等への役員、選手および受講者等の派遣(同条第4号)

次のとおり派遣した。

<剣道>

4月1日(土)～	2日(日)	第52回剣道西日本中央講習会	神戸市	才、古谷
4月16日(日)		第15回全日本選抜剣道八段優勝大会	名古屋市	船津、神崎
4月29日(祝)		第65回全日本都道府県対抗剣道優勝大会	大阪市	石田、廣崎、奥山、足達、山本、大城戸、田中、江藤
5月2日(火)～	5日(祝)	第113回全日本剣道演武大会	京都市	参加者：479名

6月14日(水)～18日(日)	第55回剣道中堅剣士講習会	奈良市	中嶋、高科
7月15日(土)	第9回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	東京都	石田、生出、玉置、山本、川内、西野
8月20日(日)	第72回国体 近畿ブロック大会	兵庫県赤穂市	少年男・女、成年女子 13名
9月10日(日)	第63回全日本東西対抗剣道大会	福岡県福岡市	島野泰、山本、古川、寺本、清家、江藤
9月24日(日)	第56回全日本女子剣道選手権大会	長野県長野市	山本、豊丸、北井
9月17日(日)	第12回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	大阪市	小学生チーム 2チーム、中学生チーム 2チーム 計4チーム
10月1日(日)～3日(火)	第72回国民体育大会	愛媛県松山市	成年：男子・女子 2チーム
9月9日(土)～12日(火)	第30回全国健康福祉祭	秋田県由利本荘市	大阪府チーム：西山、大久保、林、石丸、鳥濱、廣田 大阪市チーム：長野、原、石田、國次、宮坂、高島 堺市チーム：住吉、神脇、田原、飯山、奥村、橋本
11月3日(祝)	第65回全日本剣道選手権大会	東京都	大城戸、前田、大石
<居合道>			
5月2日(火)	第113回全日本剣道演武大会	京都市	参加：57名
7月1日(土)～2日(日)	全剣連地区講習会	大阪府大阪市	参加：134名
9月2日(土)～3日(日)	第44回全剣連中央講習会	京都市	光行、伏見、無津呂
10月21日(土)	第52回全日本居合道大会	広島市	伏見、杉本、中島、柴田
<杖道>			
5月2日(火)	第113回全日本剣道演武大会	京都市	参加：18名
6月3日(土)～4日(日)	第26回全剣連中央講習会	千葉県勝浦市	中野、田口
8月5日(土)～6日(日)	全剣連地区講習会	熊本県人吉市	参加：13名
10月8日(日)	第44回全日本杖道大会	東京都	初段：日下(養峻館) 四段：井上(守口) 六段：帆谷(大理生)
平成30年1月13日(土)～14日(日)	全剣連地区講習会	東京都	参加：36名
			参加：18名

5、称号および段級位の審査並びに段級位の授与（同条第5号）

段位審査会は、剣道5回、居合道2回、杖道2回実施した。剣道の受審者数は5,641名で、前年より3.1%の増加、居合道は減少、杖道は若干増加であった。

6、功労者の表彰（同条第6号）

- | | | | |
|--------------------------|---------------|--------------|-------------------------|
| ①平成29年度 全剣連 剣道功労賞 | | | 太田 博方 |
| ②平成29年度 全剣連 剣道有功賞 | | | 楠本 正一
右田 善法
田中 莊介 |
| ③範士受称 | 杖道 | | 森本 訓史 |
| ④八段昇段 | 剣道 | | 平野 良樹
中 寛和
三浦 秀人 |
| ⑤平成29年度 全剣連 少年剣道教育奨励賞 | | | |
| 豊能地区 | 高川剣友会 | | |
| 三島地区 | 藍野剣聖会 | 郡剣友会 | |
| | 山田剣友会 | 高槻警察署少年剣道推進会 | |
| | 茨木警察少年剣道推進会 | | |
| 大阪北地区 | こぶし剣友会 | 大淀警察少年剣道推進会 | |
| 大阪南地区 | 相生神路剣友会 | 西区体育厚生協会 | |
| | 東住吉警察署少年剣道推進会 | | |
| 北河内地区 | なわて剣道クラブ | | |
| 中河内地区 | 松原警察署少年剣道推進会 | | |
| 南河内地区 | 河内長野少年剣道推進会 | | |
| 堺地区 | 北堺警察少年剣道推進会 | | |
| 泉州地区 | うぶすな剣友会 | | |
| ⑥平成29年度 大阪府 生涯現役スポーツ賞 | | | |
| | 金賞 | | 荒尾 進 |
| | 銀賞 | | 川頭 隆義 |
| | 〃 | | 宮本 啓一 |
| | 団体賞 | | 十三剣友会 |
| ⑦第39回全日本高齢者武道大会（剣道）女性個人戦 | | 優勝 | 大島 安子 |
| ⑧平成29年度全国税関剣道大会 | 団体 | 優勝 | 大阪 税関 |
| ⑨第60回全日本実業団剣道大会 | 優勝 | | パナソニックエコソリューションズ社本社 |
| ⑩平成29年度全国警察剣道選手権大会 | 女子の部 | 優勝 | 山本 真理子 |
| ⑪平成29年度全国警察剣道大会 | 男子団体戦第1部 | 優勝 | 大阪府警察 |
| ⑫平成29年度全国警察剣道大会 | 女子団体戦 | 優勝 | 大阪府警察 |

7、その他大剣連の目的達成のための必要な事業（同条第7号）

①普及活動の推進

会員の活動状況の把握に努めると共に、普及委員（地区担当理事）を中核として9地区毎に地区普及協会組織を強化し、地区内の普及活動を活発に推進した。

◇地区および職域講習会の開催

各地区（合同講習会含む）・職域における指導者層のレベルアップを図り、正しい剣道の普及と活力ある指導者の育成を目指して28回開催され、活発な活動が行なわれた。

◇地区大会の開催

各地区および職域等で開催された35回の剣道大会に後援、援助を行なった。

◇地区昇級審査会の開催

平成22年4月1日から、新制度下で行われており、各地区で小中学生を対象に、72回の昇級審査会が開催された。

◇予算措置

9地区剣道普及協会に対しては地区活動推進のために、居合道、杖道、中体連、高体連、学生剣連、社会人剣連、官公署、大剣協、道場連盟等に対しては活動推進のために、補助金審査委員会の決定のもとに、補助金を支出し、援助を行なった。

◇報道促進

迅速な情報提供のために、ホームページの活用について検討を続け、ツイッター・メールマガジン・行事の写真・動画の配信を引き続き推進した。また、新聞・通信社に、当連盟の開催する大会、予選会等の記事掲載のため、情報を提供している。

②安全対策

保険加入の徹底

◇行事傷害保険

会員に傷害保険の重要性について理解を求め、大剣連主催行事に際しては、主催者として、行事傷害保険加入を完全実施している。熱中症・脳梗塞・食中毒なども適用範囲となっている。

◇スポーツ安全保険

会員団体の日常稽古における傷害などの補償確保については、契約者を（公社）大阪府剣道連盟会長とした加入申込書と説明書を全会員団体に送付し、加入を促している。把握している加入数は216団体2,555名で、加入団体数は微増であったものの、加入人数は9%程度減少した。なお一層の加入者数の増加に努めたい。

傷害発生傾向

事故・傷害の保険適用件数は76件で、昨年度に比べ増加した。事故の内容は、これまでと同様に、四肢の捻挫や骨折が多い。中でも、少年剣士の足部の骨折が多く報告されている。その状況は、転倒や稽古者同士の接触によるものが多数報告されており、稽古の方法について一考の必要があると思われる。また、自宅から稽古場へ通う道中の事故・怪我也発生しており、各登録団体において、事故防止・交通安全指導をお願いしたい。

級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」が取り入れられた関係上、より安全性を重視するよう、関係者に注意を促している。

II. 収益事業

1、全剣連発刊出版物等の頒布事業

講習会資料、試合・審判規則、日本剣道形解説書など、総計878冊を販売した。

2、広告等募集事業

大会プログラムに広告掲載を各方面より募集し、総数37件、総計735,000円の協力を得た。

Ⅲ. 共通事業

事業活動組織

常任理事会を3回、理事会を5回開催し、業務運営の方向を定めつつ、事業を実施した。事業活動の円滑な遂行のため、委員会間の連携を図り、活発な活動を行なった。

常置委員会として、総務・法規整備、綱紀・安全、個人情報保護管理、補助金審査、財務、未来構想、IT・広報、普及、講習会、審査員選考、審判員選考、審査、審判、強化、事業、少年、女子、学校、居合道、杖道の20専門委員会を設置、それぞれの領域で活動を行った。

その他

当連盟のシンボルマーク「千成瓢箪」については特許庁への商標登録を昨年度に完了し、英訳表記「The Osaka Kendo Federation」については本年度に商標登録を完了した。

平成29年度事業報告 資料

I 剣道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

次のとおり、講習会、稽古会等を実施した。

	講習会名称	実施回数	指導者数	参加者数
連 盟 主 催	審判講習会	4回	19名	196名
	日本剣道形講習会	3回	13名	164名
	指導法講習会	3回	16名	84名
	女子稽古会・講習会	3回	7名	198名
	計	13回	55名	642名

平成30年3月 3日(土) 全日本剣道連盟後援講習会 日本剣道形 於大阪市中央体育館
全剣連派遣講師：中田 瑋士 範士 参加：53名

(2) 各種大会の開催

5月28日(日) 大阪市長杯第61回市民剣道大会 (大阪市主催、大剣連主管)
優勝：男子の部 トールエクスプレスジャパン(株)A 於修道館
女子の部 富士ゼロックス 参加：79チーム
412名

6月25日(日) 第50回大阪府少年剣道大会
兼 第12回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会大阪府予選会
於府民共済SUPERアリーナ(舞洲アリーナ)
優秀チーム 参加：256チーム
高学年：関目剣友会、穴師剣道会、小曾根剣友会 756名
低学年：穴師剣道会、済美館剣道、小曾根剣友会

7月22日(土) 第64回大阪府剣道優勝大会 於岸和田市総合体育館
優勝：男子一般 パナソニックエコソリューションズ社門真 参加：165チーム
女子一般 パナソニックエコソリューションズ社門真 861名
高校男子 清風高等学校

9月17日(日) 第12回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(大阪市・大剣連主催)
於府民共済SUPERアリーナ(舞洲アリーナ)
参加：小学生の部 48チーム
中学生の部 47チーム

11月 5日(日) 第14回大阪府女子剣道優勝大会 於臨海スポーツセンター
個人戦の部 優勝 一部：高 二部：小笠原 三部：河部
四部：西野 五部：金谷 参加：152名
団体戦の部 優勝 一部：パナソニックエコソリューションズ社本社
二部：茨木市剣道協会A
参加：42チーム、181名

上記のほかに、大阪学生剣道連盟、高体連、中体連、大剣協、大阪社会人剣連、大阪官公署剣連等の各種大会について、後援を行なった。

(3) 各種予選会の開催

4月16日(日) 第9回全日本都道府県対抗女子剣道大会・大阪府予選
 代表：生出、玉置、山本、川内、西野
 於修道館
 参加：53名

5月13日(土) 全国健康福祉祭剣道交流大会予選会
 於修道館
 参加：40名
 代表：(大阪府チーム) 西山、大久保、林、石丸、鳥濱、廣田
 (大阪市チーム) 長野、原、石田、國次、宮坂、高島
 (堺市チーム) 住吉、神脇、田原、飯山、奥村、橋本

5月20日(土) 第72回国民体育大会・成年の部・大阪府予選
 代表：(男子) 前田、大石、古川、藤武、松原
 (女子) 山本、近藤、川内
 於修道館
 参加：121名

7月2日(日) 第56回全日本女子剣道選手権大会・大阪府予選
 代表：山本、豊丸、北井
 於修道館
 参加：42名

8月26日(土) 第65回全日本剣道選手権大会・大阪府予選
 代表：大城戸、前田、大石
 於大阪市中央体育館
 参加：63名

平成30年2月25日(日) 第66回全日本都道府県対抗剣道優勝大会・大阪府予選
 代表：森島、内橋、勝見、村上、大城戸、田中、平野
 於修道館
 参加：163名

(4) 審査会

7月1日(土) 豊中市立豊泉家千里体育館
 10月8日(日) 府民共済SUPERアリーナ(舞洲アリーナ)
 11月23日(祝) 岸和田市総合体育館
 平成30年1月14日(日) 府民共済SUPERアリーナ(舞洲アリーナ)
 3月21日(祝) 府民共済SUPERアリーナ(舞洲アリーナ)

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比	
受審者数	2,473	1,750	593	411	414	5,641	+ 172	+ 3.1%
(うち女性)	745	487	193	112	101	1,638	+ 52	+ 3.3%
合格者数	2,145	1,197	344	202	179	4,067	+ 104	+ 2.6%
(うち女性)	626	351	106	37	24	1,144	△ 33	△ 2.8%

参考 (称号および六段以上)

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比	
受審者数	505	324	279	48	38	—	1,194	△ 4	△ 0.03%
合格者数	106	56	3	48	38	—	251	△ 2	△ 0.07%

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月22日(土) 第64回大阪府剣道優勝大会 於岸和田市総合体育館
演武 日本剣道形 那須信男 — 住野圭市

7月23日(日) 暑中稽古 於府民共済SUPERアリーナ(舞洲アリーナ)
参加者: 約1,420名

平成30年 2月12日(振休) 第22回大阪武道祭 演武 於大阪市中心体育館
参加: 大阪市立茨田中学校剣道部員15名及び指導者1名

3月の国際女性DAYに合わせた新しい企画として、

平成30年 3月17日(土) 2018 オール大阪剣道 WOMAN フェスタ 於大阪市立修道館
「つなぐ-en-システム株」の協賛を得て、子供から大人まで女子189名が参加

Ⅱ 居 合 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

5月20日(土)	第1回特別強化練習会・全日本居合道大会選考会	於千島体育館	参加：123名
6月10日(土)	審判講習会	於千島体育館	参加：64名
7月30日(日)	第2回特別強化練習会	於大阪市中央体育館	参加：124名
8月11日(祝)	夏季居合道講習会	於大阪市中央体育館	参加：189名
9月23日(祝)	全剣連伝達講習会	於千島体育館	参加：126名
平成30年1月13日(土)	新年合同稽古会	於修道館	参加：105名
1月27日(土)	第3回特別強化練習会	於東淀川体育館	参加：129名
2月12日(月)	高段者特別錬成会(英信流)	於修道館	参加：25名
2月25日(土)	春季居合道講習会	於千島体育館	参加：175名
平成29年4月1日(土)～2日(日)	全剣連派遣講師講習会	於修道館	参加：延224名
	全剣連派遣講師：河口 俊彦 範士		

(2) 各種大会の開催

11月18日(土) 第47回居合道段別大会 於東淀川体育館 参加：135名

(段外は優秀賞、初段～六段は優勝、七段は最優秀賞・部長賞の受賞者のみを記載)

<男子> 段外：松並(春風会)、守西(英信十字会)
初段：町田(近畿大) 二段：依田(都島) 三段：堀(交通局)
四段：永井(水月会) 五段：白坂(大剣協) 六段：中島(水月会)
七段：最優秀賞…柴田(振興会)、部長賞…黒木(交通局)
<女子> 初・二段：平田(八重垣会) 三段：菅野(近畿大)
五・六段：川口(大剣協)

平成30年1月7日(日) 第59回大阪居合道大会 於府立体育会館 参加：1,057名

(段外は優秀演武賞受賞者数、初段～六段は優勝者、七段は福田一男杯、居合道同志会長杯および優秀演武者受賞者のみを記載)

<男女混成> 段外：30名
七段…福田一男杯受賞者：西田忠正(鹿児島)
…大阪居合道同志会長杯：亀井洋祐(高知)
…最優秀演武者：松崎哲雄(香川)
<女子の部> 初段：竹森未南海(青山学院大) 二段：都築咲保里(京都大)
三段：伊吹莉奈(同志社大) 四段：阪口裕子(東京)
五段：亀井美和(高知) 六段：瀧澤朋未(群馬)
<男子の部> 初段：北川直也(京都大) 二段：見崎貴史(同志社大)
三段：細村正勝(群馬) 四段：吉村典久(群馬)
五段：村松英季(山梨) 六段：圓口雄平(東京)
<団体の部> 優勝：無外流交通局 2位：八重垣会

(3) 各種予選会の開催

5月20日(土) 第52回全日本居合道大会大阪府選手選考会 於千島体育館
(第1回特別強化練習会) 参加：123名
監督：伏見 選手：杉本、中島、柴田

10月14日(土)第59回大阪居合道大会大阪府予選会

於千島体育館

参加:138名

3位:近畿大学・大阪剣道協会 決勝戦は、1月7日大阪居合道大会で実施した。

(4) 審査会

8月20日(日) 於修道館

平成30年3月4日(日) 於修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	27	27	17	19	22	112	△26名
合格者数	20	21	12	10	10	73	△22名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	23	10	9	2	2	—	46	+11名
合格者数	5	2	0	2	2	—	11	+2名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月22日(土)第64回大阪府剣道優勝大会

於岸和田市総合体育館

演武 無外流・太刀打之形

東弘一 柴田勝己

11月5日(日)第14回大阪府女子剣道優勝大会

於臨海スポーツセンター

演武 無双直伝英真流之形

三木幸代

全日本剣道連盟 居合之形

中尾美世

平成30年2月12日(振休)

第22回大阪武道祭

演武

於大阪市中央体育館

参加:綿谷尚久 吉田潤 和田雄治 脇本幸夫

主管行事として、

6月30日(金)全剣連主催 居合道六・七段審査会

大阪市中央体育館

7月1日(土)～2日(日)全剣連主催 居合道地区講習会

大阪市中央体育館

Ⅲ 杖 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

4月 9日 (日) 春季講習会	於東淀川体育館	参加：81名
5月 7日 (日) 高段者講習会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：42名
6月11日 (日) 審判講習会・伝達講習会	於川西市総合体育館	参加：45名
7月23日 (日) 高段者稽古会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：44名
8月20日 (日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：44名
9月24日 (日) 高段者稽古会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：43名
10月 1日 (日) 審判講習会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：41名
10月28日 (土) 秋季講習会	於修道館	参加：71名
12月10日 (日) 高段者稽古会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：45名
平成30年1月 7日 (日) 稽古初め	於川西市総合体育館	参加：36名
2月 4日 (日) 高段者稽古会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：41名
3月 4日 (日) 高段者稽古会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：37名
5月～3月 杖道月例研修会	於川西市総合体育館等	10回開催

(2) 各種大会の開催

6月18日 (日) 第54回大阪杖道大会兼第44回全日本杖道大会大阪府予選会
於修道館 参加：165名

(優勝者のみを記載)

初段以下：日下 (養峻館) 二段：廣瀬 (神戸大) 三段：金丸 (和歌山)
四段：井上 (守口) 五段：山口 (和歌山) 六段：帆谷 (大理生)

11月19日 (日) 第40回関西杖道優勝大会 於川西市総合体育館 参加：124名
 <団体戦> 優勝：紀州有信会B 準優勝：玄武館A
 <個人演武優秀賞> 段外：今西 (奈良)、山口 (住吉武道館)
 二段：近藤 (奈良)、曾根 (泉北はつが野)、曾和 (穹盈館)、
 馬場 (守口)、三木 (高砂)
 三段：石本 (守口)、岩崎 (京都)
 四段：中川 (京都)

(3) 各種予選会の開催

※上記、6月18日 (日) 第54回大阪杖道大会兼第44回全日本杖道大会大阪府予選会に記載

(4) 審査会

4月23日 (日) 於修道館

11月12日 (日) 於修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	7	11	13	14	7	52	+ 1名
合格者数	6	11	12	9	2	40	+ 6名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	4	1	3	2	2	—	12	△ 2名
合格者数	4	0	0	2	2	1	9	+ 3名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月22日(土) 第64回大阪府剣道優勝大会 於岸和田市総合体育館
演武 全日本剣道連盟杖道形 古谷重勝 — 大島谷 仁

11月 5日(日) 第14回大阪府女子剣道優勝大会 於臨海スポーツセンター
演武 堀江百合子 — 藤田ほずみ

平成30年2月12日(振休) 第22回大阪武道祭 演武 於大阪市中央体育館
参加: 鹿島 晃 — 下谷光生 帆谷増幸 — 古谷重勝

3月25日(日) 杖道体験講習会 於森ノ宮医療学園 一般受講者5名

これらの他、普及・振興のために各地・各大会での演武活動に力を注いだ。

平成 29 年度事業報告 附属明細書

平成 29 年度事業報告には、「一般法施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 30 年 5 月

公益社団法人 大阪府剣道連盟